

創立者出身地への学生派遣プログラム（鯖江市）

最終成果報告発表会

日程 2012年11月18日（土）

会場 鯖江市響陽会館（「さばえしものづくり博覧会 2012」会場）

創立者の一人である矢代操先生の出身地鯖江市と2011年に締結した連携協定に係る事業の一環として同プログラムを実施しました。8月1日の第1回ガイダンスを皮切りに、現地派遣前の福井県東京事務所、アンテナショップ訪問などでの取材・調査、資料収集、グループワーク、8月27日～30日までの現地での調査・取材、熟議を踏まえた中間発表を経て、10月31日に最終報告書を提出、鯖江市初開催「さばえものづくり博 2012」会場において発表会を開催しました。

最終成果報告会参加者 9名（男子6名、女子3名）

- 第一グループ 「鯖江家族は1家族 サバエさん ～毎月1回は市民団楽しよう！～」
田中 佑弥（政治経済学部3年）、安井 奈緒子（経営学部2年）
- 第二グループ 「中心市街地のにぎわいの創出について ～回覧板で賑わいを取り戻す～」
山下 龍太郎（大学院 商学研究科1年）、大塚 真由（国際日本学部2年）、亀ヶ谷 沙織（情報コミュニケーション学部2年）
- 第三グループ 「市民協働による食育推進 ～食でつながるみんなの鯖江～」
開発 祐介（経営学部4年）、菊池 友裕（商学部1年）
- 第四グループ 「鯖江型生涯スポーツ ～未来のあなたは笑っていますか？～」
伴 雄介（経営学部4年）、坂田 直人（政治経済学部1年）

最終成果報告会

学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う同プログラムは「創立者出身地・さばえ活性プロジェクト～鯖江ブランドの創造～」を大テーマとして鯖江市から提示された①市民主役のまちづくり（『熟議』手法をつかって）②中心市街地の賑わいの創出について③市民協働による食育推進～食でつながるみんなのさばえ～④鯖江型の生涯スポーツ社会の実現、の4つのテーマ・課題に各グループ4人が取り組みました。情報の少ない中での事前研修から現地でのフィールドワーク、熟議、中間発表での講評の各機会多くの「気づき」を得、大学に戻り再々検討や練り直しを経て最終報告に臨みました。最優秀賞は一泊二日のツアー形式の「ツアー型合コン」を提案した第四グループ、オーディエンス賞は「サザエさん一家の団欒をモデルとして市民の意見を聞く場を設ける」提言をした第一グループが各々受賞しました。最後に、青雲の志を抱き東京への第一歩を踏み出した矢代操先生の旧宅地跡を訪ね参加学生各々思いを馳せ、心新たにしました。



牧野鯖江市長はじめ鯖江市職員のみなさん、また多忙な中熟議に参加いただいたみなさん、学生の取材・調査にご協力くださったみなさん、熱いご支援、心あたたまご対応をいただき、誠にありがとうございました。そして、本プログラムを最後までやり抜いた参加学生のみなさん、お疲れさまでした。